

レビュー会

1. 目的

データパスと制御手順（状態遷移図）の設計を確認し、問題点が存在しないか確認する。「後工程で問題が発見され手戻りが発生することを防ぐ」ことを目的とする。設計のリファインはあくまでも「おまけ」とする。

2. 方法

(1) 役割分担

- | | |
|----------|-------------|
| a. 司会 | (重村) |
| b. 資料作成者 | (レビューを受ける班) |
| c. レビュアー | (その他の班) |

(2) チェックするポイント

- a. データパスは完成しているか。(メモリとの接続、制御信号は全てあるか)
- b. 命令フェッチが可能か。(PC++, フェッチした命令の置き場所)
- c. LD、ADD、SUB、CMP、AND、OR、XOR 命令は実行できるか。
(各アドレッシングモード、SP も対象、フラグ変化)
- d. シフト命令は実行できるか。(SP レジスタも対象、フラグ変化)
- e. ST 命令の実行が可能である。(各アドレッシングモード、SP も対象)
- f. PUSH/POP 命令の実行が可能である。(SP も対象)
- g. JMP/CALL/RET 命令の実行が可能である。
(各アドレッシングモード、PC とメモリ)

レビュアー 1 : a, b (全体概要)

レビュアー 2 : c, d (LD、演算命令、フラグ変化)

レビュアー 3 : e, f (レジスタからメモリ、SP++, SP--)

レビュアー 4 : g (PC とメモリ)

(3) 手順

- a. 資料の配布、資料の特徴、資料を読むための注意事項説明
- b. レビューアが担当の観点（チェックポイント）から資料を確認
- c. 資料作成者への質問（問題点の指摘、反論）
- d. 修正が必要な点の確定

以上